

小学校第3学年国語科学習指導案

「漢字の形について考えよう」

1 単元の目標

- (1) 文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。〔知識及び技能〕 (3)エ(ア)
- (2) 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕 A 話すこと・聞くこと (1)オ
- (3) 言葉がもつよさに気づくとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕

2 単元で取り上げる言語活動

同一字体の漢字に字形が複数あることの長所と短所について自分の考えをもち、互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合う活動

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 文字の組み立て方を理解し、形を整えて書いている。(3)エ(ア)	① 「話すこと・聞くこと」において、目的に沿い自分の意見をもって話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。(1)ア	① 漢字に字形が複数あることの長所・短所について粘り強く考えて自分の考えをもつとともに、単元を通して学んだことを今後どう生かそうか考えている。

4 単元と児童

(1) 単元について

古来より、漢字を表記する際には、同一字体の漢字においても、楷書体、行書体、篆書体等の様々な字形が使用されてきた。それらは、漢字のもつ文化としての豊かさであるともいえる。また近年、ワープロソフトの普及等により、同一字体に様々な字形（フォント）が使用できるようになってきている。

文化庁は「常用漢字表（告示）H22」及び「常用漢字表の字体・字形に関する指針（報告）H28」において、字体*¹と字形*²に関して、「字体は骨組みであるため、ある一つの字体も、実際に書かれて具体的な字形となってあらわれたときには、その形は一定ではない。同じ文字として認識される範囲で、無数の形状を持ち得ることになる」という考え方を示している。一方で、「教育においては発達段階に応じた適切な配慮が必要である」ともしている。

文部科学省「小学校学習指導要領解説国語編（告示）H29」の「内容の取扱いについての配慮事項」では、児童の書く文字を評価する場合について、先述の引用を引き、「児童の書く文字を評価する場合には、こうした考え方を参考にして、正しい字体であることを前提とした上で、柔軟に評価することが望ましい」とする一方、漢字や書写の指導の際には、「文字を書く能力を学習や生活に役立てるために、文字を正しく整えて書くことができるよう、指導の場面や状況に応じて一定の字形を元に学習や評価が行われる場合もある」とし、「漢字の指導

においては、学年別漢字配当表に示す漢字の字体を標準とすること」としている。

以上から、児童に複数字形がもつ「表現の豊かさ」としての価値と、標準字形がもつ「文字を正しく整えて書くための拠り所」としての価値の両方を理解させ、使い分けながら将来の社会生活において漢字を適切かつ豊かに活用できる能力を育てていく必要があるといえる。

これらを踏まえ、本単元では、同一字体の漢字の複数の字形を児童自らが探し、それらを比較しながら、字形が違ふことの意義や問題点について話し合う学習活動に取り組む。この学習活動を通し、様々な字形がもつ表現の豊かさに気付くとともに、漢字学習の際に、学年別漢字配当表に示す漢字の字体をお手本として、形を整えて漢字を書こうとする姿を目指す。

*1 字体：文字を文字として成り立たせる骨組みのこと。その字をその字として認められる共通認識の骨組み。

*2 字形：字体を基に、具体的に表されたその字の形のこと。手書き文字の個人差や書体の違いは字形の差とされる。

(2) 児童の実態 (男子9名 女子6名 計15名)

これまで本学級の児童は、学習指導要領学年別漢字配当表に示された第三学年までの漢字について着実に学習を進めてきた。しかし、漢字を書く際に、離すべき画と画をつなげて書いたり、「とめ・はね・はらい」を省いて書いたりするといった姿が見られ、形を整えて漢字を書こうとする意識にまだ課題がある。そこで、漢字の字体・字形への見方や考え方を身に付け、形を整えて漢字を書こうという意識を育むために、同一字体の漢字の複数字形を基に、字形が違ふことの意義や問題点について話し合う学習活動を設定した。

5 指導と評価の計画 (全2時間 本時2/2)

次 (時数)	学習活動	指導上の留意点	評価規準
1 (1)	<ul style="list-style-type: none"> 提示された異なる字形の2つの「心」の漢字を見て、同じ字か違う字か自分の立場を決めて話し合う。 「お気に入りの字形の『心』」を探し、紹介し合う。 いろいろな字形があることで、どんな「よいこと」があるか話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 字形の違いが明確になるよう、教科書体とポップ体の「心」を拡大したものを提示する。 どちらの立場かネームプレートを黒板に貼ることで明確にさせた後、全体で話し合う。 学習用端末のスライド機能を使い、いくつかの字形の「心」の中から自分が選んだ字形を拡大して提示しながら紹介するよう促す。 紹介の際は、どこがお気に入りのポイントかも伝えるよう指示する。 グループ→全体の順で、自分の考えを紹介する場を設定する。 自分の考えをノートに書いてまとめさせた後、ペア→全体の順で意見を交流する場を設定する。 児童の意見は、黒板に板書して整理する。まとまった板書は、端末のカメラ機能で記録させる。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>〔主体的①〕 ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢字に字形が複数あることの長所について粘り強く考えて自分の考えを書いているか確認する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔思考・判断・表現①〕 観察</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数字形があるよさを明確にするという目的に沿って、自分の意見をもって話し合っているか確認する。 </div>

<p>(2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書体の字形と自分が選んだ字形を比べ、違っているところを探し共有する。 ・字形が違っていると漢字を練習する時に困ることについて考え、発表する。 ・「困ること」をどう解決すればいいか、話し合う。 ・単元の学習を振り返り、ノートに書く。 ・漢字練習に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の端末に教科書体の「心」の 슬라이드를配信し、自分が選んだ字形と比較して、違っているところを丸で囲む活動を位置付ける。 ・自分が見付けた字形の違いをもとに考えるよう促す。 ・自分の考えをノートに書いた後、ペア→全体の順で意見を交流する場を設定する。 ・漢字を使うときや練習をするときに気を付けることなどの視点から、単元の学習を通して、分かったことや、次に生かしてみたいことをノートに書かせる。 ・字形を整えて、漢字を書くよう促す。 	<div style="border: 1px solid black; background-color: #FFD700; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>〔知識・技能①〕 ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同一漢字の異なる字形を比べ、細部の違いを理解しているか確認する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>〔主体的①〕 ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元を通して学んだことを今後どう生かすかについて見通しがあるか確認する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔知識・技能①〕 ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準の字形を確認しながら形を整えて漢字を書いているか確認する。 </div>
------------	--	--	---

6 本時の展開

(1) ねらい

同一漢字の字形の違いに気付き、形を整えながら漢字練習をするには、ある程度標準となる字形が必要なことに気付く。

(2) 本時の評価基準

漢字学習の際に、学年別漢字配当表に示す漢字の字体をお手本として、形を整えて漢字を書こうとしている。

(3) 本時の構想

本時のねらいの達成に向け、以下の手立てを講じる。

- ・いろいろな字形があると困ることについて話し合うことで、正しい漢字の学習には標準の字形が必要なことに注目させる。

(4) 展開

時間 (分)	児童の学習活動	教師の働きかけ	□評価◇留意点 →C評価への対応
導入 (5)	<ul style="list-style-type: none"> ・「心」について、教科書体の字形と自分が選んだ字形を比べ、違っているところを探す。 ・自分の見つけた字形の違いについて発表し、考えを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の端末に教科書体の「心」のスライドを配信し、自分が選んだ字形と比較して、違っているところを丸で囲む活動を位置付ける。 ・字形の違いに丸をつけたスライドを拡大提示装置に表示して発表するよう促す。 	◇端末の操作方法について、本時まで確認しておく。
展開 (25)	<p style="text-align: center;">◎字形が違っていると漢字を練習する時に困ることについて話し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・字形が違っていると漢字を練習する時に困ることについて考え発表する。 ・「困ること」をどう解決すればいいか、話し合う。 ・単元の学習を振り返り、ノートに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が見つけた字形の違いを基に考え、ノートに書くよう促す。 ・児童の意見は板書し整理する。 <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・行書体だと三画目と四画目がつながっているから、正しい画数が分からなくなる。 ・丸ゴシック体だと二画目がはねていないから、はねるのが正しいのか分からなくなる。 ・ポップ体だと三画目が「●」になっている。手書きで書くときどう書けばいいか分からない。書き順も分からなくなる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをノートに書いた後、ペア→全体の順で意見を交流する場を設定する。 ・漢字を使うときや練習をするときに気を付けることなどの視点から、単元の学習を通して、分かったことや、次に生かしてみたいことをノートに書かせる。 	<div style="background-color: #FFD700; padding: 5px;"> <p>〔知識・技能①〕 ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同一漢字の異なる字形を比べ、細部の違いを理解しているか確認する。 </div> <p>→実際に、自分が見つけた字形をお手本に漢字を書かせて、書きにくさなどを尋ねる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔主体的①〕 ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元を通して学んだことを今後どう生かすかについて見通しがあるか確認する。 </div>
まとめ (5)	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字練習に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・字形を整えて、漢字を書くよう促す。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔知識・技能①〕 ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準の字形を確認しながら形を整えて漢字を書いているか確認する。 </div>